

MELON

情報紙



Miyagi Environmental Life Out-reach Network 2010年3月★第87号

COP15 MELON 代表派遣

デンマークのコペンハーゲンで開催された COP15 に、MELON から中田俊彦先生（ストップ温暖化センターみやぎ運営委員、東北大学大学院工学部教授）を派遣しました。また、長谷川理事長も現地で活躍されました。



COP15 本会議の様子

会員状況

1,026 名
法人 101
任意団体 16
個人 909
2010年2月17日現在



ボランティアポイントカードをご活用ください

部会・プロジェクトの例会、イベントにボランティア参加する際にボランティアポイントカードをお持ちください。1回の参加で1スタンプを捺印します。5つ貯まると MELON 協力商品券（1,000円分）と交換できます。カードを紛失した方は事務局までご連絡いただければ再発行いたします。

MELON 協力商品券を利用しましょう。

「MELON 協力商品券」を積極にご活用ください。利用額の一部が MELON に寄附され、皆さんの日頃のお買い物行動から環境を守る活動に役立つ仕組みが作られています。

*** Index ***

- P2-3. 【特集】 COP15 MELON 代表派遣
- P4. 間伐材でクラフト体験
シリーズ かんきょう読み聞かせ
- P5. 協同組合のコーナー
MELON20周年を目指せ！
50人リレートーク
- P6. エコの交差点、寄附金のご報告
- P7. ストップ温暖化センターみやぎ「通信」
ツバル写真展、全国大会
- P8. 投稿欄、編集後記

COP15 と NGO / 市民



長谷川公一理事長

COP は条約締約国会議の略称で、P (party) が締約国を意味します。ではこのような国際間交渉に、市民はどのように関わられるのでしょうか。環境 NGO など市民側も参加して総体としてつくりあげるのが、1992 年のリオ・サミット以来の国際会議の主流のあり方です。本会議場で「市民社会」という座席表示を見ると、NGO・市民がつくる「市民社会」も、会議を構成する重要な一員であることをあらためて再認識します。より高いレベルでの合意への圧力（自国政府代表団に対して、国際会議全体に対して）、監視、コメント・評価・批判、環境 NGO 間・市民間の情報交換・交流・対話、メディア向けの解説、サイドイベントの企画・実施、デモンストレーション、社会的アピール、世論喚起など、市民側のはたす役割は少なくありません。こうした市民の声の重要性を認識しているからこそ、COP15 では、「コペンハーゲン希望の港に (Let's turn Copenhagen into Hopenhagen)」というホーペンハーゲン・キャンペーンなどが活発に展開されました。

COP は条約締約国会議の略称で、P (party) が締約国を意味します。ではこのような国際間交渉に、市民はどのように関わられるのでしょうか。環境 NGO など市民側も参加して総体としてつくりあげるのが、1992 年のリオ・サミット以来の国際会議の主流のあり方です。本会議場で「市民社会」という座席表示を見ると、NGO・市民がつくる「市民社会」も、会議を構成する重要な一員であることをあらためて再認識します。より高いレベルでの合意への圧力（自国政府代表団に対して、国際会議全体に対して）、監視、コメント・評価・批判、環境 NGO 間・市民間の情報交換・交流・対話、メディア向けの解説、サイドイベントの企画・実施、デモンストレーション、社会的アピール、世論喚起など、市民側のはたす役割は少なくありません。こうした市民の声の重要性を認識しているからこそ、COP15 では、「コペンハーゲン希望の港に (Let's turn Copenhagen into Hopenhagen)」というホーペンハーゲン・キャンペーンなどが活発に展開されました。



12月12日のデモ行進

会議後半からの閣僚級・首脳級会合を前に、12月12日には、世界中から集まった市民約5万人が参加したデモ行進が行われました。ベビーカーを引いた親子連れや高齢者の参加も目立つ、約2時間6キロの平和的な行進でした。コペンハーゲン大学の大学院で環境社会学を学ぶ私の友人は、「このデモに参加することは、コペンハーゲン市民の義務です」と言っていました。日本のデモにくらべると、踊りあり歌あり、個性的で楽しげなパフォーマンスが目立ちました。

公式の会議と平行して、7日から18日まで、Peoples' Climate Summit, Klimaforum09 も、コペンハーゲン中央駅近くで開かれ、連日盛況でした。会議の2日目から、NGO 側の要請を受けて、「WWF (世界自然保護基金) ジャパン」と「気候ネットワーク」のメンバー2人が、温暖化会議では初めて日本代表団に加わるようになったことも、政権交代にとまらう変化でした。



日本からもデモ行進に参加



人形姫も温暖化問題に抗議

『COP』とは

COP は 締 約 国 会 議 (Conference of the Parties) の略で、地球環境問題に限らず、多くの国際条約の中で、その加盟国 (Parties) が物事を決定するための最高決定機関 (Conference) という意味があります。最もよく耳にする COP は気候変動枠組条約 (Framework Convention on Climate Change, FCCC) の締約国会議 (COP-FCCC) ですが、生物多様性 (COP-CBD) や砂漠化対処条約 (COP-CCD) など、その他にもそれぞれ『COP (締約国会議)』があります。

気候変動枠組条約の締約国会議

1992年に国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) が採択、1994年に発行された後、条約の具体的な履行について議論する国際会議として設置されました。1995年以降、条約の最高機関として毎年開催されています。これまでに、COP3 (1997年) で「京都議定書」が、COP7 (2001年) で京都議定書の実施ルールを定めた「マラケシュ合意」が採択されたほか、2008年から始まる京都議定書の第一約束期間に向けて、実施のための細則を定めてきました。



中田俊彦先生

ストップ温暖化センターみやぎ運営委員、
東北大学大学院工学研究科教授



NGO のアトラクション

COP15 参加報告 (要旨)

1. 全体会議 (Plenary session) へのオブザーバー参加

12月12日開催の全体会議に NGO としてオブザーバー参加した。議長による温室効果ガス削減案の文書案は、温暖化による気温上昇の上限を「2℃」または「1.5℃」と定義。続いて、各国の数値目標を、各国は、2050年までに1990年に比較して温室効果ガスを「50%」、「85%」、または「95%」削減し、それ以降も削減の努力を続けると定めた。

2. サイドイベント (Side events) への出席

会場内で並行して開催される数多くのサイドイベントの中から、自然エネルギーとエネルギー効率化のためのパートナーシップ (REEEP)、国際応用システム研究所 (IIASA)、国際民間航空機関 (ICAO)、二酸化炭素の地下貯蔵 (CCS) のセッションなどに参加した。

3. フィールドツアー (次世代住宅の実地見学)

エネルギーツアーと称する、次世代省エネルギー住宅の見学会に参加した。広さ170平米の家は、化石燃料を一切使わずに快適な生活ができる。デンマーク政府は、今後の新築住宅の建築基準を定め、2010年までに従来型住宅の消費エネルギーの25%削減、2015年までに50%削減を義務づけている。

●●●『現地ルポ』からの一部抜粋●●●

(全文は MELON のホームページでご覧いただけます)

12月11日(金)曇り 参加初日

パスポートのパソコンのデータから Nakata を読み出して、顔写真撮影とレーザープリンターでの印刷。3分程度で手際よく終了。朝九時以降になると、終日混雑の様子。内部の入口でピカピカの ID バッジを見せてバーコード照合。なんだか、コンビニのレジの品物になったようだ。



会場はどんどん人が増えて、まるで丸の内のオフィス街と、渋谷の路上イベントが同居したような、不思議な雑踏が作り出されていく。数十回ほど国際会議の参加経験はあるが、初めての感覚である。会議当事者である政府関係者のスーツの存在感が消失するほどの、民間団体と会場内で活動する老若男女が伝える高揚感。元気である。いわゆるサイドイベントと称される民間団体の活動が、この偉大な国際会議の雰囲気にも味を添えて、全体の公式な会議さえもリードしていくような錯覚も覚える。この会議、実は参加費は無料である。会場の奥方で行われている政府関係者の密室会議には入場できないものの、民間団体、といってもかなり公的な機関もあるが、彼らの会議やワークショップには、ふらっと入って参加することができる。

12月12日(土)曇り 参加2日目

この会議は、継続中の COP15 の第二回会議という位置づけで、マスコミだけが入場できない。私はバッジを見せて、最後部に陣取る。世界中の NGO がこの空間に集結しているようだ。

会場は、おそらく利府の体育館よりも広く、幅がある。会場の前半分は政府代表団の席だ。各国二席しかなく、世界中の国に割り当てるので、それでも数多い。NGO 席は、後列の右三分の一で、ここだけがほぼ満席。正面向かって左側には、同時通訳のブースが並び、空中の屋台のようだ。ロシア語、中国語、スペイン語、フランス語、アラビア語、英語で六カ国語である。アフリカの小国はフランス語が多く、南米はスペイン語が多い。これらの通訳を聞いて議事を進行する議長は、さぞかし優れものなのだろう。壇上の中央に座る女性が、この議長役の Connie Hedegaard さんである。デンマークの気候・エネルギー省大臣を経て本要職に着任し、私と同い年のようで軽くショックを受ける。こういう人がエネルギー大臣ならば、さぞかしデンマークのエネルギー規格も高度化するのだろうと、妙に納得する。



各国の政府代表が着席したシート

間伐材でクラフト体験講座

緑・食部会では宮城県地球温暖化防止活動推進員・森林グループの皆さんの協力をいただき、1月から3月までの3ヶ月間、毎月「間伐材でクラフト体験講座」を開催しています。5月には里山を体験する市民講座『森のクッキング』を予定しており、そのイベントとして企画しました。

講座には親子連れや年配の方まで幅広い年齢層の方が参加し、カエルやツルの作成を通して間伐材に親しんでもらいながら、森林が持つ働きや間伐材を利用する意義についての学習も行っています。参加者からは「自然に興味を持つきっかけになった」と好評をいただいています。

5月に開催する『森のクッキング』では里山の学習・クラフト体験や竹炭作り見学・山菜天ぷら調理を行います。森の恵みを楽しみながら実体験を通して森林の果たす役割を理解し、温暖化問題を考えてみませんか？皆さんの参加をお待ちしています。



自然にふれる貴重な体験になったと親子連れにも好評です。

緑・食部会 講座の開催予定

- 『間伐材でクラフト体験講座 第3回』
3月13日(土) 13:30～15:30
- 『森のクッキング』
5月15日(土) 川崎町貸森林
- 『田んぼの学校』
7月上旬予定



木々が人々を守る

さて、絵本は必ず最初から読み始めなければいけないというものではありませんし、また、かならずこのことを知ってもらいたいと肩肘を張る必要ありません。もしかしたらあなたのお子さんが、絵本の中のあるページだけを何でも読むかも知れませんし、なんども同じところで笑うかも知れません。読み手であるあなたも同じで、「ここがどうしても気になるんだよな。」とそこでとまってしまうこともいいのです。

「ナランドの伝説」(中野田鶴子・中澤孝典 作、中澤孝典 絵、黄檗賣茶流事務局 2007年5月)では「木々が人々を守る」という山の老師の言葉を聞いた国王が、あらゆる名木を切り倒し、城や武器を作り、自分の国の繁栄を築きます。国王は、このぜいたくをこれから先も続けていくためにはどうしたらいいだろうかと老師に尋ねます。老師はいいいます。「国王よ、あなたの行いは過ちだらけだ。あなたの造ったこの国は、まもなく音を立てて崩れ去るだろう」と。

さあ、国王は怒って老師を切り捨て、とたんに国は荒れ果ててしまいます。さて、荒れ果ててしまったこの国に、若い木こりの夫婦がいた。何にもすることのなくなってしまった木こりがあるとき、老師の夢を見る。老師は希望の木があることを教える。木こりはその木を探しに行きます。

この本の最後まで読めば「木々が人々を守る」という老師の言葉から、宮城県にいるわたしたちは、古くから屋敷のまわりに植えられた「いぐね」のことがふと頭に浮かぶかもしれません。そうです。確かに「いぐね」をこの本と重ねてもいいでしょう。ただ、わたしは、老師の言葉「木々が人々を守る」を聞き、城や武器を造るために木々を倒した国王のことがどうしても引っかかってしまって、最後までなかなか進みません。確かに国王からすれば、それも「木々が人々を守る」ことになるのですから。この「すり替え」が実に何ともいえなくスリリングなのです。「科学技術が未来を救う。」「経済が人々に幸せをもたらす。」「国民は民主主義を必要としている。」・・・この言葉を用いるのにどこかで、この国王のような「すり替え」がおこなわれていないか。ふとまわりを見回したくなります。



各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

みやぎ生活協同組合から

**「こ〜びの森 神行堂山」 森林体験会
参加者募集**

この春、新たに南三陸町歌津に「こ〜びの森 神行堂山」が誕生します。新しい「こ〜びの森」に広葉樹を植え、豊かな森を作る植林体験会に参加しませんか。

申込方法 住所・氏名・電話番号、企画名を明記し、ハガキ・FAX・メールのいずれかで下記までお申込ください。

〒981-3194 仙台市泉区八乙女 4-2-2
みやぎ生協生活文化部環境活動事務局

TEL 022-218-3880
FAX 022-218-3663

E-mail sn.mkankyok@todock.jp



日 時：4月24日（土）

8:30～16:30 ★雨天決行

【集合場所・時間】

バス乗車／8:20 仙台駅西口大型バス発着所

現地集合／9:50 南三陸町スポーツ交流村

定 員：バス乗車：40名（応募多数の場合抽選）

現地集合：車3～4台まで受付可能です。ご希望の方は直接生活文化部にお問い合わせください。（応募多数の場合抽選）

参加費：バス乗車 1人1,500円

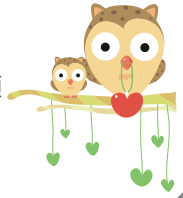
現地集合 1人200円

※いずれも中学生以下半額

持ち物：昼食、飲料水、雨具、軍手、

帽子、長靴、敷物

締 切 り：4月9日（金）



MELON20 周年をめざせ！

50 人リレートーク

第30回目の執筆者



児玉昭治さん
（特定非営利活動法人
みどり十字軍）

宮城県の森林ボランティア組織である「みどり十字軍」は、森林作業の体験を通して、ふるさとの自然環境を大切に守り育てる意識の醸成や、森林の持つ役割の重要性、また魅力を感じながら一緒に活動していく中で、森林を少しでも良い状態で後世に残したいとの願いから、平成7年に県民の森で結成され“森林に新しい風を”モットーにして今日まで活動を行って参りました。

「十字軍」と聞くと、中世ヨーロッパ十字軍を思い浮かべるとと思いますが、私たちはみんなで力をあわせて“みどり”を守り育てたいとの願いと固い団結を表す意味から「みどり十字軍」とネーミングしました。

さて、近年森林を取り巻く状況は大きく変化しております。木材生産の場としての森林から、大気環境の維持、水資源確保の観点といった地球規模での環境保持などを担うものと認識されるようになりました。

とくに京都議定書における二酸化炭素の削減目標6%のうち、森林の適正な整備による削減効果が3.9%になるよう、大きく位置づけされており、国・県においてもそのための様々な森林整備に関する施

策がされようとしているところです。

このような中で、私たちはボランティア市民として、以下の理念に基づき活動を進めていこうと思ひます。

1. 目的、理念、企画、責任を持って行動する。
2. 行政、NPO、企業、県民、市民との協同作業を図り、信頼をえて行動する。
3. 森林整備、自然観察会、森の生き物調査、研究会、交流会 などに参加し多様なニーズに対応できるよう努める。
4. 森林ボランティアとして正しい知識と技能をつける。
5. 子どもたちとの交流、森の学習室、地域の市民の交流など積極的に行う。

みどり十字軍は平成15年1月16日に特定非営利活動法人に認定されました。

私たちは、森林に新しい風を、をモットーにして活動を続けて参りました。森の中に風と太陽と光を取り入れ、生き物たちも人間も森に入りやすく共存できるよう、明るい良い森にしたいと願っております。

水の森公園もキャンプ場も楽しい場となるよう、子どもの記念公園が後から来る人達にとって良い場所であるよう頑張ってお残して行ければと思っております。

… 次号執筆者紹介 …

濱中郁子さん
（財団法人仙台市公園緑地協会）

【前号の訂正とお詫び】

情報紙86号（1月号）のリレートーク（第29回）の記載に誤りがありました。お詫びの上訂正いたします。

- ①左側1行目 誤私有林 → 正市有林
- ②左側7行目 誤ヒメギクチョウ → 正ヒメギフチョウ
- ③右側10行目 誤定例理事会 → 正定例視察会
- ④右側11行目 誤トトロかんさつ会の参加者 → 正参加者は



エコの交差点

これからの環境配慮型社会・持続可能社会・低炭素社会を目指す上で、環境活動に取り組む企業同士の連携は欠かせません。しかし、出会いの機会が少ないのが現実です。そこで企業&環境プロジェクトでは企業を対象にした交流会「エコの交差点」を開催しています。

第1部の活動紹介では、「エコ de スマイルコンテスト in みやぎ」に応募した企業や事業所の方をお招きし、各事業所の取り組みを紹介していただきました。異なる業種の方々が集まるとそれぞれの特色が



さまざまな取り組みの紹介に熱心に耳を傾ける参加者

あり、参加者は興味深く話を聞きながら、メモをとる光景も見られました。

第2部は、活動紹介をしたそれぞれの企業のもとに、話を聞いてみたい参加者が集まる分科会形式で交流会を行いました。お互いに質問やアドバイスをしながらの異業種間の交流に、盛り上がりを見せました。

今回の交流会には行政、環境団体、一般人とさまざまな立場の方が参加し、社会の環境に対する関心の高さを改めて感じる事ができました。この交流会で生まれたつながりをぜひ今後にいかしてほしいと思います。

環境に取り組む企業による活動紹介 協力企業

- 有限会社明治牛乳加美宅配センター
- 株式会社ウジエスーパー・株式会社ウジエクリーンサービス
- 株式会社一ノ蔵
- データコム株式会社
- 由利設計工房
- 株式会社ホテル佐勘

(順不同、敬称略)

仙台 89ERS エコマイルスタンプキャンペーン

MELON と仙台 89ERS が共同で、『エコマイルスタンプキャンペーン』を始めました。環境にやさしい手段で仙台 89ERS の応援に仙台市体育館へ来てもらおうと実施しています。

自家用車以外の手段で会場に来た方は、自己申告制で会場に来た手段を記入し、総合案内にてスタンプを捺印してもらいます。毎回記入することで、自分の環境貢献度を知ることができます。スタンプは貯めるとオリジナルグッズと交換できます。

皆さんもスポーツ観戦に出かける際はぜひ徒歩や自転車、公共の交通機関をご利用ください。

エコマイルスタンプキャンペーン

【キャンペーン実施期間】 1/8(金)～5/2(日)

会場：仙台市体育館
対象：自家用車以外で観戦に来たサポーター
特典：スタンプが5個貯まるともれなく 89ERS クリアファイルプレゼント
★ダブルチャンス★仙台プロスポーツネット特製エコバック（非売品）を抽選でプレゼント

参加費：無料
スタンプカードの配布期間：4/4(日)まで
スタンプカードの配布場所：総合案内

主催：MELON
協力：株式会社仙台スポーツリンク

寄附金のご報告

塩釜市団地水産加工業協同組合、明治牛乳加美宅配センターからストップ温暖化センターみやぎに寄附をいただきました。

塩釜市団地水産加工業協同組合は、センターが主催したエコ de スマイルコンテスト第1回目(2007年)に最優秀賞を受賞しています。地元のお祭りに出店した際に募金を呼びかけて集まった7,232円をご寄附いただきました。

明治牛乳加美宅配センターは、今年度のエコ de スマイルコンテストで入賞・スマイル賞を受賞しています。8000件を超える家庭に牛乳を届け、宅配の帰りに各家庭から出るてんぷら油を回収しています。月に400～500リットルも集まる油は、バイオディーゼル燃料や印刷インクとして再利用されています。収益の一部はお客様に粗品として還元し、お客様と環境活動に取り組んでいるという一体感も生まれているそうです。今回はその収益金から60,000円をご寄附いただきました。

エコ de スマイルコンテスト in みやぎからつながりが継続していることを嬉しく思うと同時に、ご支援いただき感謝申し上げます。この他にも複数の個人会員の皆さんからご寄附をいただいています。皆さんありがとうございました。

ストップ温暖化センターみやぎ『通信』Vol.45

ツバルの今、私たちの未来 写真展「ツバルに生きる1万人の人類～A Piece of the EARTH～」開催

開催日：2月6、7日（土日）
場所：せんだいメディアテーク1 階オープンスクエア
来場者：1,172名（2日間合計）
写真：遠藤秀一氏（特定非営利活動法人 Tuvalu Overview 代表理事／写真家）

美しい自然を入口に地球温暖化に関心を持ってもらおうと、ツバルの写真展を開催しました。

平均海拔約2mの島国ツバルは「楽園」という言葉がぴったりの風景を持っています。そしてツバルを語る時に必ずついて回る「地球温暖化による海面上昇」。これは人々の生活の場のみならず、美しい風景、そこで育まれてきた文化までが奪われることを意味します。青い海や子ども達の飾らない笑顔の写真に思わず微笑んでいた来場者の方々も、被害状況の写真を見た人々からのメッセージを読むにつれてだんだんと真剣なまなざしになっていきました。

ツバルの今を知り、私たちが何をしなければならぬかを考える2日間となりました。



ツバルの美しい風景に足を止める方々

-
- こんな声をいただきました（アンケートより）
- ◆こんなにきれいな国が生活の便利さによる温暖化が原因でなくなるなんてショック。
- ◆自分達の生活を豊かにするため、犠牲になっている人々のことを忘れてしまっていた。今からでもエコを始めたい。
- ◆「世界は1つ、自分が生活することが他の国の生活につながる」と伝わってきた。
-



人々のメッセージを真剣に読んでいます



身近にできることをご紹介しました



取材を受ける遠藤氏

ストップ温暖化「一村一品」大作戦 全国大会 2010

宮城県代表が優秀賞・審査員特別賞を受賞!!

エコdeスマイルコンテストの全国大会が2月13・14日に東京で開催されました。47都道府県代表が一同に会し、自信と気合に溢れた4分間の発表が表現豊かに繰り広げられました。宮城県代表の株式会社ウジエスーパー・株式会社ウジエクリーンサービスは、大舞台での1番最初の発表でしたが、堂々とした発表を披露しました。

そして、競争の激しい小売業が取り組んでいること・食品残さから作った肥料で作られた野菜やお米を全量買取り販売していること・その地域循環が成り立っていることが評価され、優秀賞と審査員特別賞「環境ループえがお賞」を受賞し、環境副大臣より賞状が贈られました。



審査員特別賞を受賞しました！

87号の投稿テーマ
「最近読んだおすすめの環境本」



温暖化の世界地図 (近藤洋輝・訳、丸善株式会社)
水の世界地図 (沖大幹・監訳、沖明・訳、丸善株式会社)
世界でどのくらい気象関連の災害が日常化しているのか、水が不足しているのか、一目でわかるよう世界地図が色分けされていて、その深刻さが伝わってくる。(Nino)



たべものがたり
(Think the Earth プロジェクト、ダイヤモンド社)

『39』は食糧危機で緊急援助が必要な国の数。『2,169万t』は日本の食品廃棄物の量。見て理解するページと読んで理解するページで構成されていて読みやすい。(サト)



地球の食卓
(ピーターメンツェル+フェイス・ダルージオ、TOTO 出版)

1週間分の食材をテーブルに広げて撮影した写真集です。わずかな穀類だけ、パッケージに包まれた加工食品ばかり、大量のペットボトル…国ごとに大きく違う食卓の様子に改めて衝撃を受けました。(藤野)

環境市民の
遊びかた 暮らしかた
(特定非営利活動法人環境市民 発行)

京都のNPOが発行した冊子で京都視点で書かれていますが、12ヶ月の四季折々に楽しむエコライフの提案が満載で、十分参考になります。(?)



地球のためにわたしができること
— What we can do to save the Earth.

(枝廣淳子著、大和書房)



「不都合な真実」訳者が書いたエコ・エッセイです。とても読みやすく、普通の生活の中で私でもしてみよう・気をつけようと思える内容でした。さっそく感化されて最近ではシャーペン・ボールペンではなく、えんぴつを愛用しています♪ (ひなこ)

エコ*コモノ
(平田美咲著、株式会社青山出版社)

驚くアイデアが満載で、これを読んだらもうお菓子の包み紙やパッケージが捨てられなくなります(笑)。お菓子を手にするたびにこの箱は何カリメイクできないだろうか、この包み紙は…?とを考えてしまいます。(鈴木)



投稿募集

88号テーマ

「最近気に入っているエコグッズ」

洗剤のいらぬスポンジ、何度も使えるシリコン樹脂の容器など、さまざまなエコグッズが市場に登場していますね。皆さんはどんなエコグッズを使っていますか?愛用の品を教えてください。画像付投稿大歓迎です。

投稿方法

- エピソード、氏名(ニックネーム可)を明記して、メール、FAX、ハガキにてMELON情報センターへ。
ケータイからの投稿はQRコードからご覧いただくと簡単です。
- 締め切り: 4月30日(金)



編集後記

■うちの愛娘が、ついに10歩以上歩けるようになりました!!子どもの成長は早いものですね。ますます目が離せない毎日です。(井上)
■“事業仕分け”のおかげで例年以上に大混乱の年度末を送っています。仕分けすること自体は悪いこととは思いませんがもう少し現場を見て欲しかったです…。(小林)

■もうすぐ春、MELONも私も新しい1年になりそうです!新しい生活と共に新しいエコにも挑戦してみませんか?私はプランターで野菜作りに挑戦しようと思います。(廣重)
■長年勤めたMELON事務局を3月で退職します。たくさんの方に引き止められる・残念がられるような仕事ができただけを嬉しく思います。(鈴木)

MELON とは 財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク——通称『MELON』。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO(非政府組織)です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

発行元 財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)

Miyagi Environmental Life Out-reach Network

〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F

★事務局 TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL022-301-9146 FAX022-219-5710

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL022-301-9145 FAX022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL http://www.melon.or.jp/melon/

※MELON情報紙は再生紙を使用しています。

